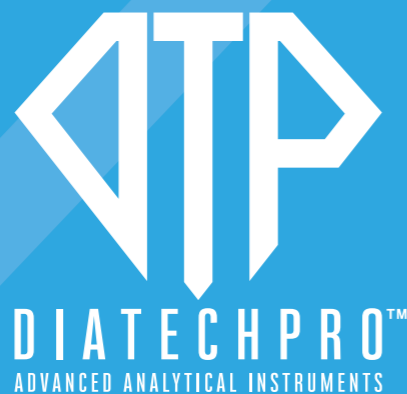


ダイヤモンドのファイアーウォール  
DIASYNTH

合成ダイヤモンドは、ルーペや顕微鏡での判定は非常に困難  
「DIASYNTH」の技術で、社会に貢献できれば幸いです



発売元

▲▲ アルファミラージュ株式会社

大阪 | 〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-2-19 TEL.06-6924-2631  
東京 | 〒110-0016 東京都台東区台東3-13-7 加瀬ビル2F TEL.03-3835-1853  
Email : alfa@alfamirage.com <https://www.alfamirage.com>  
Online store : <https://alfamirage.shop-pro.jp>

# DIASYNTH

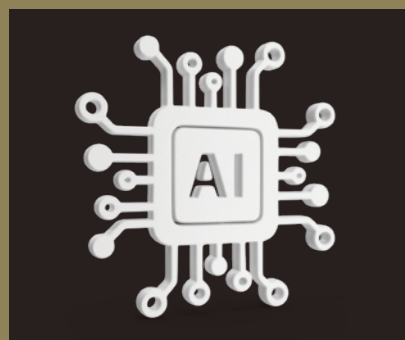
AI搭載  
合成ダイヤモンド判定器

MADE IN ITALY



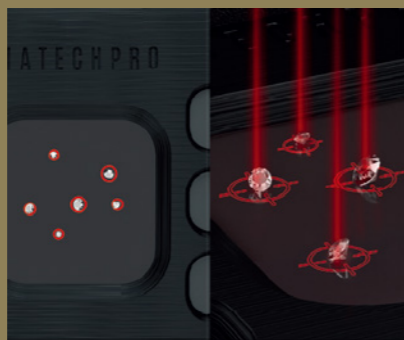
税抜価格 ¥2,860,000  
(税込 ¥3,146,000)





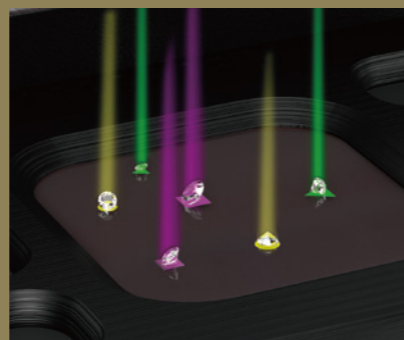
## 人工知能

「DIASYNTH」独自のプロセスであるUVIVF(紫外線誘導可視蛍光写真法)とDetection(検出の人工知能プロセス)により、様々な波長の紫外線を照射し、蛍光と長燐光、短燐光反応を瞬時に検出、認識・識別することができるので、天然ダイヤモンド、CVDダイヤモンド、HPHTダイヤモンドさらにキュービックジルコニア、それ以外に判定できます。



## 機器が即座に判定

「DIASYNTH」と他の合成ダイヤモンド判定器との最も大きな違いは「人が判定する」のではなく「DIASYNTHが判定する」ことです。判定結果はモニター上で即座に確認することができるため、結果に迷いなくなり、判定者のストレスを大幅に軽減できます。








## スマートトレイで結果を色分け表示

「DIASYNTH」は、ルース専用のスマートトレイ上で個々の宝石の位置をAI(人工知能)で特定・記録し、検査結果に対応するシンボル(図形)と結びつけることができます。



AIが判定し、モニターに映しだされた宝石にマーキングします。

-  天然ダイヤモンド
-  CVDダイヤモンド
-  HPHTダイヤモンド
-  キュービックジルコニア
-  モアサナイト及びその他の類似石



# DIASYNTH ダイヤシンス



- PC内蔵
- モニター付属
- 重量:約28kg
- 寸法:280×380×430mm

蛍光反応及び燐光反応の正確な読み取りと分析は、ユーザーの専門知識を必要としません。DIASYNTHの高度にコンピュータ化されたデジタルプロセスにより行われます。



### 迅速な結果

0.6mm以上、D-Kカラーのダイヤモンドに対応しており、分析時間は宝石の量に応じて15秒から40秒です。実際のテストでは、2000石/1時間(80石のロット)または6000石/1時間(1500石のロット)の処理能力が実証されています。



### 複数のUV光源による照射

複数のUV光源を搭載しており、長波(365nm付近)と短波(200nm付近)の紫外線を宝石に照射します。この方法により得られた蛍光反応や燐光反応を分析することで、通常は紫外線に対して非常に弱い反応を示す宝石でも識別が可能です。



### リングやブレスレットも検査可能

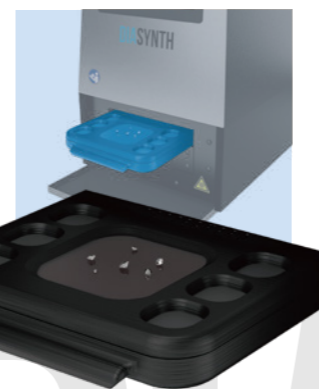
リングやブレスレットは、測定エリアに取付けできる付属ホルダーを使用することで、迅速に検査が行えます。



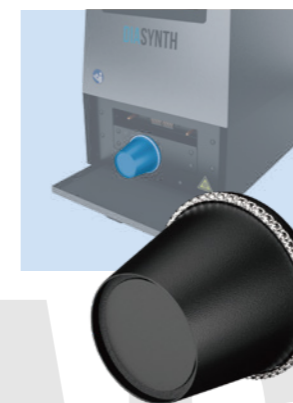
### 石留めされた宝石の判定

「MOUNTED STONES(石留め判定)機能」により、リング、ブレスレット、イヤリング、ペンダントなどに石留めされたダイヤモンドを、ルース(裸石)と同様に簡単かつ即座に検査できます。検査結果はそれぞれの石に対応してモニターに表示されるので、迅速に判定することができます。

ルース用スマートトレイ



ブレスレットホルダー



リングホルダー

